



↑特設ステージでは子どもたちに人気のキャラクターショーを開催



↑オープニングを飾ったスチールドラム



↑人の波が押し寄せたバレイシヨの無料配布



↑掘り取り体験を楽しむ参加者

## 旬を迎えた赤土バレイシヨ

# 掘り取り体験に大満足

5月3日、夢追い長島花フェスタ会場(サンセットの丘会場)で、第3回じゃがいもまつりがありました。

ゴールデンウィークの後半ということもあり、会場には親子連れなど約7千人が詰め掛け、にぎわいました。

「R&Rステイールオーケストラ」によるスチールドラム演奏で幕を開けると、同まつり実行委員長鹿兒島いずみ農協、中村信行代表理事常務が「長島のバレイシヨは、とても美味しくて、関東・関西でも人気の商品。長島の食を満喫して」とあいさつ。川添健町長が「バレイシヨを食べたら、花街道をぐるっと周遊して。食と花で長島を堪能したら、長島の応援団になって帰ってほしい」と述べました。

この後、バレイシヨの無料配布が行われ、袋いっぱいバレイシヨを求めて長蛇の列ができていました。

会場内のバレイシヨ畑では、1家族1区画(3畝)限定でバレイシヨの掘り取り体験が行われました。3人の孫を連れて体験に訪れた、さつま町の中野幹雄さんは「孫たちが、貝掘りよりも楽しいと喜んでいました。ぜひ来年も来たい」と大満足の様子でした。